

雄阿寒岳の火山活動解説資料（平成 29 年 2 月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 火口や噴気の状況（図 1～3）

9 日に実施した上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、噴気は認められず、北西斜面の融雪域の状況に特段の変化は認められませんでした。



図 1 雄阿寒岳 周辺図
(矢印は写真の撮影方向、赤丸はこれまで観測されている地熱域を示す)

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 26 情複、第 658 号）。



図2 雄阿寒岳 全景
図1中の①から撮影

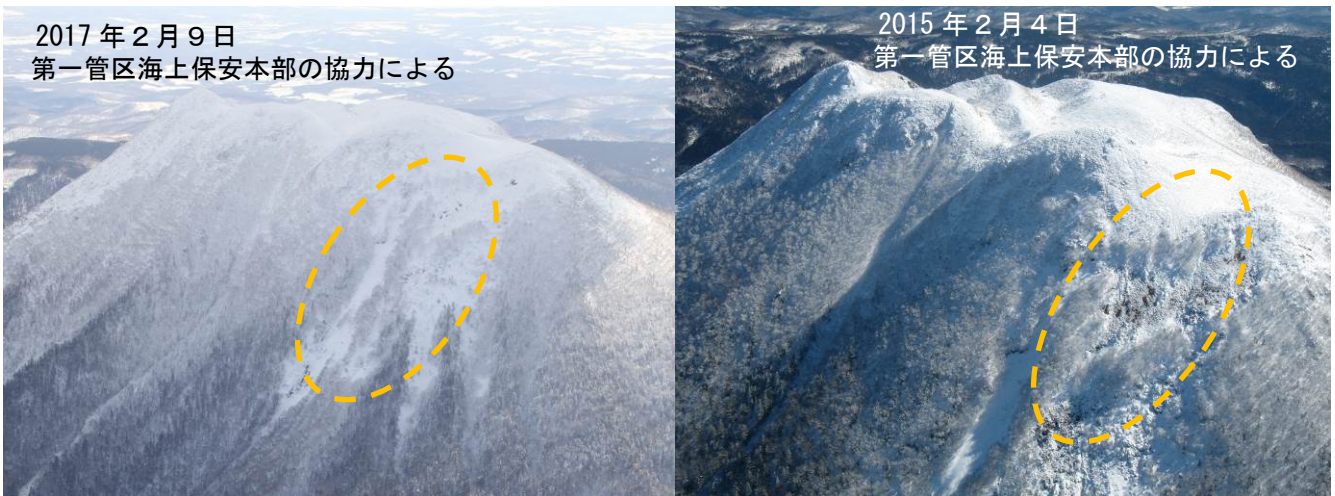


図3 雄阿寒岳 北西側斜面の状況
左：図1中の②の方向から撮影、右：図1中の③の方向から撮影
・楕円内はこれまで観測されている北側斜面の地熱域の範囲を示す
・前回（2015年2月）の観測と比較して特段の変化は認められませんでした